

令和五年度（2023年）

吉備国の郷土史 出前講座 講演テーマ・一覧表

令和5年5月1日現在

近くの公民館・図書館等へPRをお願いします
登録講師募集中
岡山県生涯学習大学・主催講座休止中

岡山歴史研究会
吉備国の語り部の会

令和5年5月1日

『吉備国の語り部の会』について

岡山歴史研究会 吉備国の語り部の会

令和元年4月10日に岡山歴史研究会内に「吉備国の語り部の会」が発足しました。

岡山歴史研究会会員は、いろんなテーマで郷土史を研究しています。研究成果を県民に伝える活動として吉備国の語り部活動を開始しました。岡山歴史研究会会員による「吉備国の郷土史の出前講座」です。登録講師は講演テーマ一覧表以外の研究も多く実施しています。ご相談願います。

公民館等で郷土史講座の講演者を探しておられます。もっと身近なテーマで話を聞きたいと思っても研究者の名前がわかりません。そこで、会員が「吉備国の郷土史の出前講座」をしたい「講演テーマ一覧表」を作成しました。

講師を選定するのはお客様です。私たちは情報提供のみです。登録講師を紹介して直接打ち合わせていただきます。講師謝礼等は、お客様の規定通りです。

吉備国の語り部の会の活動内容

- 講師を探している団体へ「テーマ一覧表」をメール貼付します。
- 現在の登録講師は14人です。講師を募集しています。
- 希望講師の、メールアドレス・電話番号を連絡致します。
- 派遣依頼は、登録講師と直接交渉していただきます。

講師派遣依頼は記録を残すためメールにてお願いします。

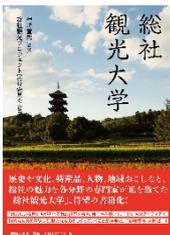
希望講師名()	講演希望年月日・時間・場所
----------	---------------

吉備国の語り部の会事務局

丸谷憲二	yanagirousi@gmail.com
------	-----------------------

Yanagirousi とは、柳老師です。

1 板野忠司の講演テーマ

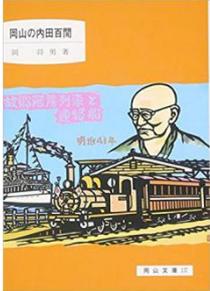
<p>著書</p> 	<p>秦歴史遺産保存協議会会長 (元) 犬養木堂記念館館長 岡山県郷土文化財団会員 岡山歴史研究会会員</p>
1-1	「犬養木堂が挑んだ近代日本の光と闇」(岡山県郷土文化講座)
1-2	「書き換わる日本史の論点」(岡山歴史楽修塾)
1-3	「ミステリーゾーン秦の郷(古墳・神社・廃寺・渡来人)」 (吉備文化を楽しむ会)
1-4	「20世紀戦争の記録と戦慄の断面」
1-5	「20世紀戦争をふりかえる」
1-6	「ここまで変わった日本史教科書」

2 井上知明の講演テーマ

<p>著書</p> 	<p>『食品・栄養・化学物質と健康』2002年 新風舎 『洛中洛外図の世界一室町時代の京都を見る』2014年 鳥影社</p> <p>中世のある時期、京都の五条橋は東西二本の橋に分かれていたということをご存じでしょうか。いくつかの洛中洛外図屏風をよく見ると、確かに二本の五条橋が描かれています。洛中洛外図は京都とその周辺(洛中、洛外)の景観、町並、風俗が描かれた屏風です。この本は、洛中洛外図のうち最も古い歴博甲本と、狩野永徳が描き織田信長が上杉謙信に贈ったことで最も有名な上杉本を中心に、洛中洛外図を紹介・解説したものです。</p> <p>屏風を子細に見ていくと、描かれた当時の歴史がいろいろ見えてきます。政治権力の推移や風俗の変遷、当時の年中行事など、見どころいっぱいの洛中洛外図を紹介したものです。(岡山の林原美術館にも、池田家に伝わった江戸時代のすばらしい洛中洛外図があります。)</p> <p>『日本史の謎を斜めから見る』2016年 鳥影社</p> <p>古代史を中心に、14のテーマで日本史の謎について考察した本です。歴史上の謎と言われているような事象・事件について、さまざまな立場からの学説・見解を紹介しており、定説とは異なる説も多数取り上げていますが、知的エンターテインメントとして楽しんでいただければと思っています。主な内容としては、〈国宝漢委奴国王金印は偽物なのか〉、〈古代出雲王朝と出雲大社〉、〈天孫降臨の地はどこか〉、〈神武東征はあったのか〉、〈現天皇家の真の初代は継体天皇か〉、〈聖徳太子はいなかったのか〉、〈九州年号の謎〉、〈再建法隆寺の謎〉、〈日本書紀という巨大で魅力的な歴史書について〉、〈本能寺の変の真犯人は誰か〉などです。</p> 
2-1	「洛中洛外図」から見えてくる歴史

3 井村圭壯の講演テーマ

<p>著書</p>	<p>井村圭壯（いむら・けいそう）（岡山県立大学名誉教授） 博士（社会福祉学）、日本福祉図書文献学会第一回学術賞受賞。 『戦前期石井記念愛染園に関する研究』（西日本法規出版，2004年） 『日本の養老院史』 学文社，2005年 『地域福祉の原理と方法』 学文社 2013年 『日本の社会事業施設史』 学文社，2015年 『社会事業施設団体の形成史』 学文社，2015年 他、著書多数。 わかりやすく、楽しく、役に立つお話をします。 ご希望により「心理テスト」、「リハビリ」「レクリエーション」も行います。 FMラジオ（笠岡放送）で「岡山の福祉の歴史」のパーソナリティ担当。</p>
<p>3-1</p>	<p>語り部：老人ホームの今と昔：岡山編 ーわかりやすく・たのしく・おもしろくー</p>
<p>3-2</p>	<p>語り部：孤児院の今と昔：岡山編</p>
<p>3-3</p>	<p>養老院の今昔物語入門：岡山編 ーわかりやすく・たのしく・おもしろくー</p>
<p>3-4</p>	<p>語り部：昔の岡山福祉人の物語入門 ーわかりやすく・たのしく・おもしろくー</p>
<p>3-5</p>	<p>社会福祉の人物史入門：岡山編</p>
<p>3-6</p>	<p>人間の心理と社会福祉の歴史 ーわかりやすく・たのしく・おもしろくー</p>
<p>3-7</p>	<p>郷土史：美談にしないための人物史研究</p>
<p>3-8</p>	<p>超高齢社会と介護保険制度の歴史 ーレクリエーションもまじえて楽しく考えましょうー</p>
<p>3-9</p>	<p>助け合いの心と岡山県の福祉史 ー共生社会から地域共生社会へー</p>
<p>3-10</p>	<p>福祉教育としての社会福祉の歴史</p>
<p>3-11</p>	<p>施設の広報紙の今と昔：岡山編</p>
<p>3-12</p>	<p>ホームヘルパー誕生物語</p>
<p>3-13</p>	<p>老人ホームの今昔入門 ー高齢者福祉の歴史と未来を語るー</p>
<p>3-14</p>	<p>老人ホームをつくった先駆者たち ー苦労と戦略の歴史ー</p>
<h3>4 岡 将男の講演テーマ</h3>	
<p>著書</p>	<p>NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)会長 楯築サロン（吉備古代史）代表 百鬼園倶楽部（内田百閒顕彰会）会長</p> <hr/> <p>1954年 岡山市生まれ。東京大学経済学部卒。 路面電車とまちづくりの全国ネットワークを主導。 文化方面でも幅広く活動。 文藝春秋で「タフネゴシエーター」と紹介される。 「ロビイスト」（交通など）を名乗る。 「岡山の内田百閒」1989年 日本文教出版（岡山文庫137）</p>

<p>共著</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>「吉備邪馬台国東遷説」2014年 吉備人出版 「路面電車とまちづくり」1999年 学芸出版社 「バスマップの底力」クラッセ 「古代吉備歴史小説 勾玉の首飾り」ビジネスセミナー 1992年4月号～1994年5月号。 「脱原発の市民戦略」2012年 緑風出版 「卑弥呼は近江か出雲か吉備か」 「卑弥呼と邪馬台国/新邪馬台国 G5 サミット in 吉備」TVせとうち 「中国地方の鉄道探見」 「環境自治体白書 2011年度」 ★岡山城築城400年ソフト事業委員長 ★岡山経済同友会地域振興副委員長</p>
4-1	吉備邪馬台国東遷説
4-2	岡山城天下取り物語
4-3	岡山の内田百閒
4-4	「資治通鑑」全訳からみる古墳時代の背景
<h2>5 杉 嘉夫の講演テーマ</h2>	
著書	<p>昭和10年岡山市上之町生まれ、岡山操山高卒業 昭和33年防衛大学校卒業、陸上自衛隊へ、前半主に野戦特科（砲兵）として、後半は情報関係 平成2年定年退職（一等陸佐） 岡山人物銘々伝を語る会会員 『岡山後樂園の美しさ・楽しさを伝えるために』平成26年3月</p>
5-1	<p>神戸事件と瀧善三郎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神戸事件を通じて幕末の攘夷・開国に関する朝廷・幕府・薩長及び備前藩の動向 2. 武士道の真髄を発揮した瀧善三郎の切腹の実情
5-2	<p>池田綱政と岡山後樂園</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 池田綱政の人物像とその投影である岡山後樂園の特徴 2. 岡山城の惣構えとしての後樂園、特に対砲兵戦の見地から
5-3	池田光政・綱政の藩政—岡山が最も注目されていた時代
5-4	池田忠雄と伊賀上野の仇討 元和偃武からの二十年
5-5	池田光政と東備防衛拠点 明君有事の備え怠らず （閑谷学校、和意谷墓所、井田、倉安川の意義など）
5-6	岡山藩士が姫路城を戦火から遺した 併せて 備中松山討伐と熊田恰の自刃

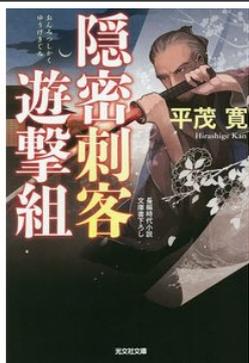
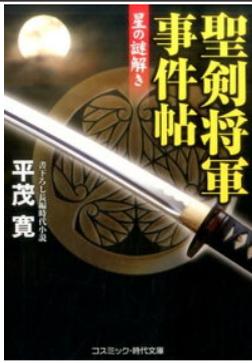
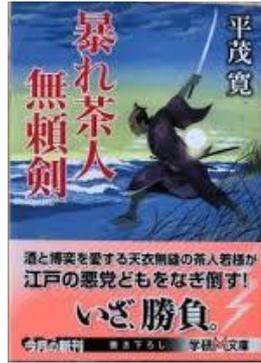
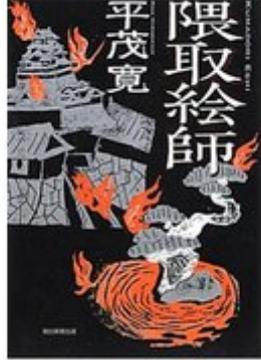
6 高橋義雄の講演テーマ

<p>大学 論文</p> <p>著書 編著</p> <p>講演歴</p> <p>所属 団体</p>	<p>2017年岡大経済学部博士課程単位取得 先駆的銀行合同例の地銀間比較 『一第一合同銀行と藝備銀行との財務諸表の比較を中心として』 『両大戦間期に「一県一行」を先駆けた大原頭取の銀行経営について』 「中国銀行五十年史」（日本経営史研究所より「優秀会社史」賞受賞—日本一の社史） 「岡山県史（金融編）」（岡山県刊） 「新修倉敷市史（金融編）」（倉敷市刊） 「岡山県人物事典」（山陽新聞社刊） 「柔道」（講道館刊） 「岡山県柔道の歩み」（岡山県柔道連盟刊） 執筆は堅いものからエッセイ、落語の原作まで書いてきました。 継続的に掲載されたもの雑誌「岡山ひやく店」「岡山財界」「瀬戸内ジャーナル」新聞「オカニチ」等 現在は「高梁川」（倉敷市発刊）に毎年投稿、歴23年になる。 「山田方谷ゼミナール」に投稿。 大学、公民館、講演会等にて講演歴35年 ジャンル—経済、郷土歴史、歴史人物、研究テーマ— ①社会経済史学会 ②岡山歴史研究会顧問 ③岡山歴史楽修塾代表 ④方谷研究会理事 ⑤郷土の歴史・経済・文化研究会顧問</p>
山田方谷の軌跡	
生誕・師・修学・業績・藩政改革・高弟の育成・思想（陽明学）の影響・子弟の育成	
6-1	山田方谷の師 丸川松隠（倉敷出身・新見藩藩儒、方谷5歳で入塾）、
6-2	佐藤一斎（江戸・陽明学の師。昌平覺儒官）
6-3	山田方谷の孫養子—山田濟斎（旧制第七高等学校校教授、二松学舎校長）、川崎祐宣（川崎医大創立者、濟斎の教え子）
6-4	山田方谷の友人 阪谷朗盧（興讓館校長）、阪田警研（朗盧の甥、興讓館校長、県会議長）、関藤藤陰（笠岡出身、幕末に福山藩家老）
6-5	山田方谷の高弟 進鴻溪（方谷の一番弟子）、三島中洲（倉敷出身・二松学舎創立・高梁に銀行設立—中国銀行の淵源、大正天皇の侍講）
6-6	山田方谷の高弟 川田甕江（儒学者、中洲と友人、方谷より「剛毅」の名前を授与—三島毅、川田剛、歌人、大正天皇の侍講）
6-7	川田順（子息、歌人、住友財閥理事、「老いらくの恋」で話題。甕江の曾孫相良直美（歌手、那須で犬の訓練所経営）
6-8	山田方谷の高弟 河井継之助（長岡藩家老、長岡藩改革に尽力、「峠」の主人公）
6-9	山田方谷の孫弟子 外山脩造（河井の学僕、三島中洲の教え子、渋沢栄一の部下、銀行設立を指導、阪神電気鉄道、阪神タイガース等創立）
6-10	山田方谷の高弟 団藤善平（松山藩剣術師範）、団藤重光（子息、東大教授、刑法学の父）、熊田恰（身を犠牲にして玉島を救う）
6-11	山田方谷の高弟 神戸柊山（備中松山藩勘定奉行、高梁に中洲が創立した第八六国立銀行初代頭取）、鎌田玄溪（儒学者）
6-12	山田方谷の上司 備中松山藩主板倉勝静（方谷を登用し、藩政改革を成功、

	幕末に老中に就任、神武天皇陵をはじめ多くの陵を修復)
柔術・柔道	
6-13	岡山は柔道の先進県であり、名人、強豪・団体が輩出
6-14	岡山は柔術の発祥地 竹内流（岡山県金川にて戦国時代に編み出された柔術）、江戸時代に各藩に伝播、多数の流派が誕生
6-15	名人の輩出 不遷流名人田辺又右衛門（講道館に不敗）・講道館十段永岡秀一 講道館九段 金光弥一兵衛（第1回選士権優勝）
6-16	旧制第六高等学校柔道部（岡山一大正11年から全国制覇8連覇、部員の永野重雄、早川昇、早川勝、桜田武等が経済界の重鎮となる。
6-17	部員の山谷太郎は井上靖の柔道小説『北の海』に登場、太郎の子息は脚本家倉本聰。実家は岡山県真庭市
6-18	田辺名人の門弟谷幸男が明治中頃に渡英し、英国で柔術を披露。探偵作家コナン・ドイルが、シャーロックホームズ物語に取り入れ
6-19	コナン・ドイルの作品60編を翻訳したのは津山出身の翻訳家 延原謙
6-20	『姿三四郎』のモデル西郷四郎（会津藩家老西郷頼母の養子）が尾道で死去し、銅像が尾道浄土寺の近くに建立される。
銀行・経済・文学。音楽	
6-21	岡山藩（池田家）の旧藩士が岡山県発の第二十二国立銀行を設立（後に安田銀行）、頭取は花房瑞連、後に岡山商工会議所会頭に就任
6-22	備中松山藩の旧藩士三島中洲が旧藩主板倉家等の出資を得て、高梁に第八十六国立銀行を設立。中国銀行の淵源。方谷の思想を実現。
6-23	三島中洲は明治10年に東京麹町の子弟に漢学塾二松学舎を設立、夏目漱石・嘉納治五郎等が学ぶ。
6-24	渋沢栄一は生涯に亘って、二松学舎を経営面と資金面で支援し、舎長に就任。二人は生涯にわたり親交を重ねる。
6-25	三島中洲は渋沢栄一の最初の夫人千代夫人が明治15年に死去すると、栄一は中洲に墓碑銘の撰文を依頼。栄一は中洲の仕事に感銘。
6-26	渋沢栄一は三島中洲の思想「経済合一説」を学び、「道徳経済合一説」を樹立して、『論語と算盤』を著す。
6-27	倉敷の実業家大原孝四郎は倉敷紡績を設立、子息大原孫三郎が小規模の紡績会社を全国規模の会社に発展させる。
6-28	倉敷銀行頭取大原孫三郎が、大正9年に全国初の6行を同時合併し、第一合同銀行を設立。一躍、有力銀行となる。
6-29	大原孫三郎頭取は岡山、香川、広島、兵庫県等の70余行の小銀行を合併し、地方銀行で日本一の規模の中国銀行を設立。一県一行の先駆。
6-30	第二次大戦後、守分十（ひさし）頭取はワースト5の中国銀行を、昭和43年に大蔵省が日本一の内容をもつ銀行であると評価。
6-31	山田耕柝は少年時代を岡山で過ごし、姉の夫のガントレットからクラシック音楽を修得。
6-32	ガントレットは旧制六高の英語教師として、岡山に赴任。エスペラントを友人に学び、普及させる。岡山はエスペラントのメッカとなる。
6-33	山田耕柝は井原市高屋伝承の子守歌を採譜し、「中国地方の子守歌」として普及させる。
7 伊達教夫の講演テーマ	

	岡山歴史楽修塾・事務局長 興除ウォーカーズ『森の仲間』代表 西大寺を愛する会
7-1	街道の変遷（古代～中世） 岡山の山陽道
7-2	岡山の塔婆建築と在住大工集団 （中世～近世）
8 富久 豊の講演テーマ	
著書	 <p>大化の改新前後から平安時代初期までの古代史著作 2 冊。 『滅びの音』2007 年 新風舎</p> <p>時は八世紀末。大倭王権の“欲”の渦の中で翻弄され、国賊として滅ぼされた小国「阿羅伽耶国」の悲劇を、膨大な資料と歴史的事実を基に再現した、古代東北歴史ロマンの決定版。</p> <p>『闇人』2010 年 文芸社</p> <p>蘇我氏を失脚させ、大化の改新を成し遂げた中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌子（藤原鎌足）の生涯を、その二人を陰で支えた山師集団の暗躍を絡ませながら、新たな視点で描いた歴史大河小説。大胆な仮説を立て、大化の改新を独自の視点でとらえた物語。『日本書紀』を踏襲しながら、史実と創作を巧みに融合させ、劇的な物語を展開する一方、歴史上の人物の人間性を豊かに描いている。</p> 
8-1	大化の改新の謎
8-2	道鏡と三人の吉備人
8-3	二人の天皇の母 吉備姫王とは
8-4	大和王権と吉備国
9 中山 亘の講演テーマ	
著書	 <p>「手遣いの民と足遣いの民」—稲作文化と牧畜文化—1999 年 吉備人出版</p> <p>要点 水田稲作農耕を中心として育まれてきた日本文化。それに対し朝鮮半島や中国大陸の文化は、牧畜を主体とした文化。日本経済の発展の過程を振り返りながら、日本の手の文化的背景と遊牧民族の足の文化を探る比較文化論。</p>
活動	「中津井やまびこ会」（「雛の文化祭り」等イベントの開催）の会長就任（H23. 7～顧問就任）
受賞	平成 18 年秋の叙勲 瑞宝小綬章
9-1	律令制度の官・職・機構・組織の変遷
9-2	幕藩治政下における代官統治（天領）
9-3	愛語と清貧と天真に生きた人間良寛—無為・無所有・身心虚脱の生涯—
9-4	大名庭園のもつ二面性と戦略的意義—名勝後樂園を中心として—
9-5	今なぜ山田方谷なのか—世界が希求する人材の治績と人間論—
10 平茂 寛の講演テーマ	
著書	2011 年『隈取絵師・鋏形恵斎』で朝日新聞出版主催の公募文学賞、第 3 回『朝

『日時代小説大賞』受賞。



10-1

江戸時代の湯屋、天文学、剣豪、博奕、富籤についてなど

10-2

「知られざる剣豪」

10-3

「奇人剣豪 平山行蔵」

10-4

「徳川吉宗と江戸時代の天文学」

10-5

「江戸の湯屋」

10-6

「いかさま采」

10-7

「江戸時代の富籤」

11 丸谷憲二の講演テーマ

著書		<p>『正保貳年（1645）学館院記録書文書 調査報告書』2007年6月 恩徳寺寺史編纂室 東京大学資料編纂所蔵</p> <p>『荘内半島（香川県三豊市詫間）の中世史 学館院記録書文書Ⅱ』2014年9月 恩徳寺寺史編纂室 東京大学資料編纂所蔵</p>
論文 発表 講演	<p>「備前西大寺地名考 備前西隆寺と備前西大寺 その地名の意味するもの」『岡山民俗 209』1998年7月 岡山民俗学会</p> <p>『会陽の起源への挑戦』岡山県立図書館デジタル岡山大百科活用講座 2008年2月</p> <p>『備前西大寺地名考 南都西大寺と備前国』就実大学図書館 岡山中世史研究会 第34回例会報告 2008年7月</p> <p>「物部神池のアカメヤナギ（ウラジオヤナギ）」『土佐地域文化 第11号 茶特集』2008年夏至 朝倉精舎</p> <p>「堤芳男先生と備前西大寺会陽」『堤芳男著作集 日本原人-その石器と骨角器-』堤芳男著作集 2009年</p>	
HP	<p>『黄蕨（きび）国の物語』</p> <p>『会陽って何だろう』デジタル岡山大百科 岡山県立図書館 2006年</p>	
ブログ	<p>『地名学では、邪馬台国は岡山です』</p> <p>『草ケ部 大廻小廻山の考察 菊山城説』</p>	
Youtube 15本 公開中	<p>『吉備国の語源 黄蕨と羈縻（きび）』2013/03/22 公開</p> <p>『百枝八幡宮より見える吉備国の古代史』2016/09/24 公開</p> <p>『地名学では邪馬台国は岡山です』2018/03/28 公開</p> <p>『古代史から見る豊安地名・・・熊山遺跡』2018/03/28 公開</p> <p>『長沼鉦山跡入坑報告』2018/04/07 公開</p> <p>『会陽の起源への挑戦（短編）』2018/07/22 公開</p> <p>『上寺山餘慶寺略縁起と長沼鉦山跡発見報告』2018/08/13 公開</p> <p>『牛窓町鹿忍槌ヶ谷遺跡から見える相撲伝来史』2018/11/5 公開</p> <p>『会陽の起源への挑戦』2020/04/28 公開</p> <p>『隠された卑弥呼の記録 牛窓伝説と好太王碑』2020/12/05 公開</p> <p>『弘法寺会陽等 会陽の起源について』2021/04/29 公開</p> <p>『弥生時代の古代製鉄』2021/07/26 公開</p> <p>『足利尊氏と備前国』2022/4/2 公開</p> <p>『圓福寺蔵 巨勢金岡筆十三像と巨勢金岡』2022/12/17 日公開</p> <p>『安仁神社の太陽信仰』2023/7/18 日公開</p>	
関連	<p>「アスピリンを食べる」『納豆博士の食養生』須見洋行 岡山リビング 1997</p> <p>『岡山県の会陽の習俗』総合調査報告書 岡山県教育委員会 2007年</p> <p>「岡山とクスリと教育」就実大学薬学部長 五味田裕</p> <p>『岡山の学問と教育』就実大学 就実オータム・アカデミー 2009年</p> <p>『五島列島ドンザの会活動報告』事務局 2013年発行</p> <p>「豊原南島神社概略史」豊原南島神社関係者一同 2020年2月</p> <p>「岡山市東区長沼円定寺貝塚の貝殻成長線分析とその年代」遠部慎・畑山智史</p>	

	『古代吉備 第32集』 古代吉備研究会 2021年6月
11-1	『吉備国語源考 黄蕨・羈縻政策説と日本人バイカル湖畔起源説』
11-2	『隠された卑弥呼の記録・牛窓伝説と好太王碑』
11-3	『地名学では邪馬台国は岡山です』
11-4	『吉備津彦伝承と古代製鉄』
11-5	『熊山遺跡と唐招提寺とブアン遺跡』
11-6	『弧帯文石から見える楯築遺跡考』
11-7	『江戸時代(1718年)に備前西大寺で発見された5000年前の縄文埋れ木』
11-8	『最古の桃太郎像について』 『吉備津神社と吉備津彦神社の温羅伝説の違いをご存じですか』
11-9	『安仁神社の太陽信仰』
11-10	『石上郷(瀬戸内市長船町磯上)と日向石神社(石上神社)考』
11-11	『吉備津神社 七十五膳据神事の七十五の起源についての考察』
11-12	『龍蛇様(背黒海蛇)から見える出雲の神迎祭と神在月』
11-13	『東大寺重源は何故、長沼に注目したのか』
11-14	『吉備の王墓・造山古墳 大吉備諸進命、千足古墳埋葬者 三井根子命説』
11-15	『備前西大寺会陽 元和二年(1616年)枝牛玉の考察』
11-16	『ハンセン病と永享十二年(1440)備前国西大寺勸進帳』
11-17	『西大寺八幡山城と宇喜多氏・・・宇喜多直家出世城』

12 藪下義文の講演テーマ

著書	『バイオマスが世界を変える 日独の比較政策研究』 平成20年(2008)晃洋書房 循環型社会の実現が日本においてなぜうまく機能しないのかを解明。良き先例ドイツと日本の法的枠組みの比較、循環型社会構築の枠組み自体の改革、市場化へ道筋をつけることを中心とする新たな循環型社会の可能性を提案する。 「桃太郎はなぜ岡山で興隆したのか?(前編)」	
寄稿	「桃太郎はなぜ岡山で興隆したか?(2)」 先史古代研究会『きび考 第17・18号』平成29・30年寄稿	
12	神社信仰の興亡	

13 山崎泰二の講演テーマ

寄稿	岡山歴史研究会 副会長 先史古代研究会 会長 岡山市エコ技術研究会 先史古代研究会会報『きび考』編集委員長 『雑学の泉』AR-NET 旭川流域ネットワーク公開 「日本国家の起源 五島列島に実在した高天原について」 『歴史研究第605号』平成24年10月号 特集『古事記』 誕生の謎 『日本の食と農を考える』平成25年3月 『後南朝と菅家関係』平成25年7月 『五島列島ドンザの会活動報告』編集長 平成25年11月 『日本語で生きよう』平成26年8月	
----	---	---

	『後南朝と植月御所』平成28年10月 『日本の神話 蒜山高天の原物語』 編集長 平成30年5月 『日本のふるさと 伯耆の国物語』 編集長 平成31年3月
13-1	米と稲の歴史と文化
13-2	美作後南朝植月御所の秘史概説
13-3	日本語で生きよう 日本語の起源から万葉時代まで
14 山田良三の講演テーマ	
所 属 ブ ログ	 <p>昭和23年3月 旧児島郡荘内村白尾（現倉敷市児島白尾）生まれ。児島高校から鳥取大学工学部（土木工学科）に入学、時あたかも大学紛争の真っ最中、この間様々な人物との出会いを通して宗教思想史に関心を持つ。栃木県の宇都宮に7年、東北の仙台・福島に10年間滞在し、この間も多くの宗教関係者や地元の文化人と交わり、歴史や人物・宗教や思想の研究を重ねる。平成3年に帰岡。同好の人々と郷土の歴史や人物の歩みを訪ねる吉備歴史探訪会を結成する。岡山人物銘々伝を語る会及び岡山歴史研究会に参加して活動続ける。</p> <p>現在、岡山歴史研究会事務局長 岡山人物銘々伝を語る会事務局 吉備歴史探訪会事務局 歴史関連ブログ「吉備楽土」「吉備の児島」「山田家のスピリット」ほか執筆中</p> <p>宗教・思想史、文化史を得意とする。日本の宗教や文化、殖産に多大な影響を与えた秦氏のルーツや歴史に詳しい。郷土出身の人物、中でも宗教や思想に貢献した人物伝を主に取り上げてきた。全国歴史研究会会員。宗教専門紙「宗教新聞」（月刊）に「岡山宗教散歩」ほか執筆中。</p>
14-1	日本仏教の宗教改革者 法然
14-2	日本文化の礎を作った 栄西
14-3	日本文化と秦氏 秦氏そのルーツと人物 吉備の秦氏
14-4	児島高德 そのルーツと後裔
14-5	熊沢蕃山とその師中江藤樹 王陽明がもたらした日本の心 山田方谷先生まで
14-6	和気清麻呂と秦氏 和気家が庇護した宗教家たちと秦氏
14-7	重源をめぐる人々 法然と栄西
14-8	備作に来た一遍
14-9	永源寺祖 寂室元光
14-10	備前法華と大覚大僧正 池田藩の宗教政策と不受不施派
14-11	熊野神社と修験道
14-12	金毘羅・由加両参り 由加山の歴史
14-13	平安～鎌倉 日本の宗教史を変えた備作の人物 法然、栄西など
14-14	岡山の宗教史概説
14-15	「厭離穢土欣求浄土」承久の乱から家康の浄土まで 浄土の教え
14-16	宗教家、偉人を育てた岡山の教育 中江藤樹～熊沢蕃山と岡山
14-17	備前・備中のキリシタン
14-18	幕末三宗教と岡山 黒住教 金光教など
14-19	岡山のキリスト教 新島襄と岡山 山室軍平 ペティアダムス宣教師 小西増太郎

